

- 寝屋川流域では、河川、下水道等が一体となった総合治水対策として、遊水地、地下河川、流域調節池、下水道増補幹線等の貯留施設の整備を推進。
- 大阪管区気象台の発表では、気象台の5箇所の観測地点（能勢、茨木、枚方、豊中、大阪市中央区）で、1時間雨量などの降水量が5月の観測史上1位の値を更新。大阪府の観測点でも、60分雨量で30mm程度の降雨が確認されたが、貯留施設で約148.3万m³を貯留し、浸水被害を軽減。
- （内水対策としての貯留量が、最大値を記録（これまでの最大値：H30.7.5～7 63.8万m³））
- 令和3年3月30日に供用開始した北部地下河川守口調節池（貯留量6.0万m³）では満杯貯留。

※本資料の数値等は、寝屋川流域協議会調べによる。

